

第4学年 音楽科学習指導案（略案）

○組 計 37人
指導者 ○○ ○○

- 1 題材 **せんりつ**の感じを生かして
 教材 ◎「あいのあいさつ」 エルガー作曲
 ◎「ピチカート ポルカ」 ヨハン/ヨゼフ シュトラウス 作曲
 「あたらしい えがお」 安西 薫 作詞 長谷川匡俊
 「とんび」 葛原しげる 作詞 梁田 貞 作曲（本時主教材）
 「陽気な船長」 市川都志春 作曲

2 本時（4／7）

(1) 目標

- ア とんびが飛んでいる様子を思い浮かべて、強弱を工夫することができる。【思考力、判断力、表現力等】
 イ 歌詞の内容を基に歌い方を工夫する活動に進んで取り組むことができる。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 本時の展開に当たって

子供たちが、とんびが飛んでいる様子のイメージを膨らませながら歌い方を工夫することができるようにするために、旋律の感じに合わせてとんびのペープサートを動かしたり、とんびの映像を見たりする活動を取り入れるようにする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題把握</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">課題追求</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">表現の工夫</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; text-align: center;">相互発表・鑑賞</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">まとめ</div>	<p>1 「とんび」の範奏を聴き、本時の学習について話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">とんびがゆったりと飛んでいる様子を思いうかべて歌おう。</div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高いところを、ゆっくり円を描きながら回っている。 ・ なめらかな感じで歌っていた。 </div> <p>2 歌詞唱する。</p> <p>(1) 旋律把握をする。</p> <p>(2) 発声・発音に気を付けて歌う。</p> <p>3 歌い方の工夫をする。</p> <p>(1) なめらかな感じにするための歌い方を工夫する。</p> <p>(2) 「ピンヨロー」の部分を、とんびのペープサートを動かしながら強弱の工夫を話し合う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 近づいているときは大きく、遠くにいるときは小さく歌うといいね。 </div> <p>(3) グループごとに練習し、2グループで演奏を聴き合う。</p> <p>4 演奏を発表する。</p> <p>5 本時の学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ とんびの飛んでいる様子に合わせて、強弱を工夫できました。 ・ とんびのゆったり飛んでいる様子を歌に表すことができました。 </div>	<p>(分)</p> <p>↑</p> <p>10</p> <p>↓</p> <p>↑</p> <p>30</p> <p>↓</p> <p>↑</p> <p>5</p> <p>↓</p>	<p>○ とんびについてのイメージをもつことができるようにするために、とんびを見た経験を話し合ったり、とんびの飛んでいる様子を映像で見たりする活動を取り入れる。</p> <p>○ 範唱を聴いて、歌い方ととんびの様子を結び付けてとらえることができるようにするために、「とんびがどのように飛んでいる感じがするか」と問いかけるようにする。</p> <p>○ なめらかな感じを生かして旋律を歌うことができるようにするために、歌詞を「ルルル」に変えるなどして歌う活動を取り入れる。</p> <p>○ 鳴き声の大きさを工夫して表現できるようにするために、とんびのペープサートを準備し、それを基にとんびのイメージを豊かにもたせながら、表現の工夫に取り組みせるようにする。</p> <p>○ 他のグループの工夫のよさを発見し、認め合うことができるようにするために、2グループ同士で聴き合う活動を取り入れるようにする。</p> <p>○ 本時の学習を振り返ることができるようにするために、わかったことやできるようになったことを発表させるようにする。</p>